

## 放送番組等の収集・保管等に関する業務の政策評価

根拠法令	放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 167 条	評価実施 時期	令和 3 年 12 月																																																																										
事務・事業 の目的	放送番組の収集・保管等により放送の健全な発達及び我が国文化の向上に資すること。																																																																												
事務・事業 の必要性等	<p>放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 167 条の規定に基づき、公益財団法人 放送番組センターが実施する放送番組等の収集・保管等に関する業務の実施状況等を踏まえ、当該業務の必要性、効率性及び有効性の観点から検証した。</p> <p>&lt;業務の実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した放送番組数             <ul style="list-style-type: none"> <li>①テレビ番組                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">平成 28 年度</th> <th style="width: 15%;">平成 29 年度</th> <th style="width: 15%;">平成 30 年度</th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和 2 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集本数</td> <td style="text-align: center;">865</td> <td style="text-align: center;">867</td> <td style="text-align: center;">936</td> <td style="text-align: center;">993</td> <td style="text-align: center;">1,017</td> </tr> <tr> <td>年度末累計</td> <td style="text-align: center;">22,616</td> <td style="text-align: center;">23,483</td> <td style="text-align: center;">24,419</td> <td style="text-align: center;">25,412</td> <td style="text-align: center;">26,427</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>②ラジオ番組                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">平成 28 年度</th> <th style="width: 15%;">平成 29 年度</th> <th style="width: 15%;">平成 30 年度</th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和 2 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集本数</td> <td style="text-align: center;">195</td> <td style="text-align: center;">156</td> <td style="text-align: center;">127</td> <td style="text-align: center;">89</td> <td style="text-align: center;">219</td> </tr> <tr> <td>年度末累計</td> <td style="text-align: center;">4,806</td> <td style="text-align: center;">4,962</td> <td style="text-align: center;">5,089</td> <td style="text-align: center;">5,178</td> <td style="text-align: center;">5,397</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> </li> <li>・公開している放送番組数             <ul style="list-style-type: none"> <li>①テレビ番組                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">平成 28 年度</th> <th style="width: 15%;">平成 29 年度</th> <th style="width: 15%;">平成 30 年度</th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和 2 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開本数</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">402</td> <td style="text-align: center;">420</td> <td style="text-align: center;">512</td> </tr> <tr> <td>年度末累計</td> <td style="text-align: center;">15,970</td> <td style="text-align: center;">16,370</td> <td style="text-align: center;">16,771</td> <td style="text-align: center;">17,177</td> <td style="text-align: center;">17,688</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>②ラジオ番組                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">平成 28 年度</th> <th style="width: 15%;">平成 29 年度</th> <th style="width: 15%;">平成 30 年度</th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和 2 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開本数</td> <td style="text-align: center;">138</td> <td style="text-align: center;">132</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">102</td> <td style="text-align: center;">125</td> </tr> <tr> <td>年度末累計</td> <td style="text-align: center;">4,268</td> <td style="text-align: center;">4,400</td> <td style="text-align: center;">4,500</td> <td style="text-align: center;">4,602</td> <td style="text-align: center;">4,727</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> </li> </ul>					年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	収集本数	865	867	936	993	1,017	年度末累計	22,616	23,483	24,419	25,412	26,427	年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	収集本数	195	156	127	89	219	年度末累計	4,806	4,962	5,089	5,178	5,397	年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	公開本数	400	400	402	420	512	年度末累計	15,970	16,370	16,771	17,177	17,688	年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	公開本数	138	132	100	102	125	年度末累計	4,268	4,400	4,500	4,602	4,727
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度																																																																								
収集本数	865	867	936	993	1,017																																																																								
年度末累計	22,616	23,483	24,419	25,412	26,427																																																																								
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度																																																																								
収集本数	195	156	127	89	219																																																																								
年度末累計	4,806	4,962	5,089	5,178	5,397																																																																								
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度																																																																								
公開本数	400	400	402	420	512																																																																								
年度末累計	15,970	16,370	16,771	17,177	17,688																																																																								
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度																																																																								
公開本数	138	132	100	102	125																																																																								
年度末累計	4,268	4,400	4,500	4,602	4,727																																																																								

・「放送ライブラリー」利用者数

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数	104, 110	100, 479	87, 540	93, 987	16, 768
視聴回数	137, 518	140, 784	130, 242	113, 100	48, 375

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年 2 月 29 日～同年 6 月 10 日まで臨時休館

<放送番組等の収集・保管等に関する業務の必要性、効率性及び有効性について>

放送番組等の収集・保管等に関する業務は、国民共通の貴重な文化的遺産であり財産である放送番組の収集・保管を体系的に行い、後世に伝えていくという観点から重要な意義を有するとともに、我が国の保有するコンテンツのデジタルアーカイブの構築及び利活用に向けた取組みの中核としても必要不可欠な取組である。

本業務は、上述のとおり極めて公益性、公共性の高い業務であり、散逸される我が国の放送番組を出来るだけ多く収集保管するためには放送番組に関する情報を放送事業者から収集可能とすることが必要であるとともに、全国の放送事業者の協力を得て公正中立な業務運営が行われる必要があることから、総務大臣が、一の財団法人又は社団法人を指定し、当該法人に本業務を行わせることが必要不可欠である。したがって、行政関与の在り方からみても、放送法の意義等を踏まえ、指定法人において実施することが妥当なものである。

当該業務の実施においては、放送番組等の適正な収集と保存や放送権利処理等の諸手続についての十分な知見及び放送事業者等の協力が不可欠であるが、当該法人は、我が国の放送の健全な発達のために、放送界全体の共同事業として、体系的、組織的に全国すべての放送番組やこれに関する情報を一元的に収集・保管すること等を目的とする法人として立ち上げられており、これらの専門的な知見を有する者を活用することができることから事務を簡素化・効率化できるとともに、また、国費を投入することなく当該業務を確実かつ適正に実施しており、効率性が認められる。

総務大臣が指定した「公益財団法人 放送番組センター」は、放送法の規定に基づき当該センターが定め公表している放送番組の収集の基準に従って、国内外の受賞番組、表現技法等において新しいジャンルを開拓した番組、現代史・芸術・伝統文化等の記録として価値のある番組といった放送番組を毎年新たに収集・保管しており、その累計本数は年々増加している。また、当該センターが横浜市に設置した「放送ライブラリー」において、収集・保管している放送番組を多くの国民の視聴に供するとともに（平成 12 年 10 月に横浜情報文化センターにて開館以降、令和 2 年度末累計で 1, 976, 293 人が同ライブラリーに来館。）、「サテライト・ライブラリー」等として全国各地の図書館・公共施設や大学等教育機関において放送番組を公開してお

	<p>り、令和2年度には、12の図書館・公共施設、9の大学等教育機関（7大学、専門学校、高等学校）において同事業を実施し、合計1,100名以上がこれを利用している。</p> <p>これらのことから、当該センターの収集基準に沿った放送番組を多くの国民の視聴に供する本事業は、放送の健全な発達及び我が国文化の向上に資するものとして有効に機能しているといえる。</p>
<p>評価の結果</p>	<p>上記のとおり、放送番組センターが実施する放送番組等の収集・保管等に関する業務については、当該業務の必要性、効率性及び有効性が認められる。</p> <p>今後、引き続き、放送番組等の収集・保管等を適切に実施していくとともに、当該センターが保有するアーカイブの更なる有効な活用を検討していくこととする。</p>
<p>学識経験を有する者の知見の活用</p>	<p>放送法第170条の規定により、放送番組センターは放送番組収集諮問委員会を設置し、収集の基準等に関する事項を審議することとされているが、当該委員会の委員には、学識経験を有する者を活用することとされており、実際に学識経験者から提言を受け、業務改善などに生かしている。</p> <p>また、デジタルアーカイブについては、放送番組センターは、放送分野の「つなぎ役」として、「デジタルアーカイブジャパン推進委員会」にオブザーバーとして参画しているほか、国立情報学研究所 高野明彦教授を座長とし、複数の有識者が構成員として参加する「実務者検討委員会」に構成員として参画している。「実務者検討委員会」では、デジタルアーカイブ推進に係る実務的課題について議論が行われているが、同委員会の方針に基づき、放送番組センターは、放送ライブラリーにおいて公開している放送番組のメタデータのうち、テレビ・ラジオのドラマ番組のメタデータについて、ジャパンサーチと連携するなど、学識経験者の知見を活用しつつ、我が国におけるデジタルアーカイブ推進に寄与している。</p>
<p>政策評価を行う過程において使用した資料</p>	<p>○公益財団法人 放送番組センターの業務及び財務に関する資料  <a href="https://www.bpcj.or.jp/other/ir.html">https://www.bpcj.or.jp/other/ir.html</a></p>

の他の情報	
-------	--

※ 国からの指定等に基づき特定の事務・事業を実施する法人に係る規制の新設審査及び国の関与等の透明化・合理化のための基準（平成18年8月15日閣議決定）に基づく評価